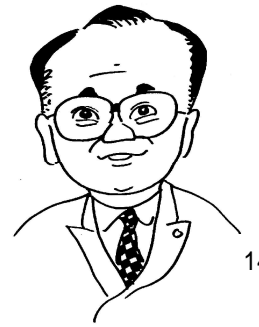


# 未来会計 会計指針（方針） を創る

売上最大

経費最少

時間短縮



## 会計指針を言語にし血肉化する

未来会計として、中心に経営計画があっても、その計画を実践していくには相当な努力が必要です。登山をする場合に、近くの山に登る場合と日本アルプスの山に登る場合とで準備が違うがごとし、より高い目標の経営計画を達成するには、その用意が必要です。急に「ヤルゾー」と思っても、気合い倒れに終わって、その行動が伴う場合は稀です。

日頃から行動源となる行動指針（フィロソフィー）を作り、その中に会計指針を盛り込んで血肉化した結果、数字を意識した行動になり、計画の達成が可能になってきます。

ある有名な会社では、下記のようなものがあります。

- 売上最大、経費最少、時間短縮
- 一対一の対応の原則を貫く
- ダブルチェックの原則を貫く
- 必要なときに、必要なだけを購入する
- 値決めは経営である
- その他～

当然ながら、会計指針を掲示するには、社員にその説明が必要です。また、その説明も口頭だけでなく、文書で書かれたものがないとなりません。ない場合には、いつか形骸化したり、また、解釈が人によってまちまちになってしまいます。

経営計画は、このような会計指針の徹底がベースになれば、達成は不可能です。よって会計指針は未来会計の一部として位置づけています。

自社にあった、会計指針を創って下さい！

私たちは、会計指針(オリジナル)の作成をお手伝いしています